

がら出迎え歓迎の意を表しました。校長室での懇談では本校の「敬学」の精神と学校経営の概況及び教育問題に華が咲き相互の親睦が深められました。

懇談後に各教室を訪問されましたが子供たちからは早速「ニーハオ」、訪問団からも「ニーハオ」の連呼、和やかな雰囲気なかで児童との交流が図られました。

訪問団の方々が特に興味を持って參觀されたのは教材内容、教具、特に教育機器と学級の人数でした。その後体育館で歓迎式を開催しました。まず合唱部の演奏、続いて舞踊部の二本松少年隊の舞踊の披露、最後に六年生によるトランペット鼓隊の演奏、惜しめない拍手と握手、握手の熱い感動が体育館を駆けめぐりました。

実験小学校からはいろいろなお土産を頂きました。児童による書道の作品、絵、パンダのぬいぐるみ、すばらしいコルク細工など。本校では、さっそく国際交流コーナーを設け、国際交流の重要さを指導しました。本校からもお返しに子供たちの書写、図画、合唱部の県大会などにおける合唱曲を吹き込んだテープなどを差し上げました。

児童・職員の大拍手の中別れを惜しみつつ「ザイチェン」を互いに連呼し二本松南小学校にとって得がたい歴史の一ページを終えました。

児童は大変な感動をおぼえ道徳だより「ひろいこころ」に感想がたくさん寄せられました。実験小学校においても、わが校児

